

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新千葉校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切な支援スペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			お子さんの支援に適切な職員数を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		お子様の特性に応じて環境を調整しています。玄関のスロープ等、今後利用されるお子様の障害特性によってはさらに設備を充実させます。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			全ての職員が参画しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からの事業所評価を業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当社 WEB サイトで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価について現在は実施しておりません。必要に応じて検討します。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な研修の機会や学び合いの場を確保しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子様や保護者の願いに寄り添い、ストレングスの視点から支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内共通のアセスメントツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全ての職員が参画しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日々の終礼の中で、指導員間の気づきを共有し、次のプログラム編成に活かしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、または来所時の状況等に合わせて柔軟にプログラム内容を調節しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	個別活動へのニーズに合わせたサービス提供を行っているため、基本的には個別活動を中心とした計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼の時間を確保し、打ち合わせしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼の時間を確保し、支援の振り返りについて全職員で共有しています。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録は漏れないよう、相互確認しています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的モニタリングと計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインの内容に沿ったプログラムを提供しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			事前に職員間で情報を共有した上で参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		学校と直接情報共有しているケースは少ないですが、保護者様を通して学校での様子について情報の共有に努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医療的ケアが必要なお子様の受け入れに関しては主治医等の意見を確認した上で慎重に判断します。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者様からのご要望があれば対応していきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在までにそのような場合がまだ生じていませんが、今後そのようなケースには情報提供して参ります。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関の研修に積極的に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	当事業所の特色から、あまり必要性を感じませんが、ご利用者様のニーズがあれば検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	会議への通知があれば積極的に参加して参ります。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の支援の中でお子さんの様子について伝え合う時間を確保しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングは実施しておりませんが、相談、情報提供、助言の範囲で求められることを行っていきます。
保護者へ	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			丁寧な説明を心がけています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			支援後のフィードバックの際には必ず保護者様の気づきや思いをお伺いしています。

の 説 明 責 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	ご要望に対しては、保護者同士のつながりづくりのきっかけや参考になるような有益な情報を発信していくことで対応していきます。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			支援後のフィードバックの際には必ず保護者様の気づきや思いをお伺いしています。
非 常 時 等 の 対 応	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	現状でも情報発信をしていますが、さらに保護者の方にわかりやすく、目に留まるよう、機会を増やし、内容の充実を図ります。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			十分に注意し、管理運用しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思の伝達が可能なツールを提案しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所の特性上できることを精査した上で必要であれば行います。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各種マニュアルを策定していますが、保護者様への周知方法を改善します。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に防災訓練を実施しています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修を定期的実施しています。
④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束マニュアルにて職員間で共有しています。保護者様にも虐待防止について説明した上で支援も行っています。	
④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	原則、食事提供はないので指示書に基づく対応はありませんが、アレルギー等の情報も事前に把握した上で支援を行っています。	
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所職員間で共有しています。	

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新千葉校

家庭数（児童数）：26（27） 回答数：24 割合：92%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	●ご意見、→ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	2	0	●子供にとって居心地のよい空間になっている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	2	0	●中学校での学習に関しては内容も複雑になるので適切に指導して欲しい。 ●個別の支援に支援員が配置するとフリーのスタッフがなくなり、連絡等しづらいことがある。 →基本的にはフリーで対応できるスタッフを配置した加配体制ですが、特別な理由によって人員が基準を満たす最低限になってしまう際は、事前に動きについて十分に確認し、サービスの質の低下とならないよう努めます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	12	1	●完全なバリアフリーではないが子どもにとって集中しやすい環境になっている。 ●玄関入口に靴を履く際の台や手すりが有ると良い。 →お子さんのニーズによって、可能な限り利用に支障がない手立てを講じてまいります。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	23	1	0	
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	23	1	0	●子供にとってわかりやすい声掛けをして下さり、自信がついてきていると思う。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	8	13	●個別療育なので希望しない（同様5件） →今後も利用者のご希望をもとに検討していきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	0	0	●都度理解できており、話しやすい雰囲気がある。 ●毎回丁寧に説明してもらっている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	1	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	10	13	●個別療育のため希望しない（同様2件） ●同年代、似たタイプのお子さんを持つ保護者の方と話せる場があると良い。 →事業所の特性上、事業所内で場や機会を設定するのは難しいかと思いますが、ニーズをもとに情報の提供やきっかけ作りを支援します。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	6	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	11	3	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	4	0	●教室の構造上他の利用者の方と支援員の会話が聞こえてしまうことが気になる。 →支援員と保護者様の会話の際の場や位置の配慮で可能な限り対応していきます。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	8	0	●台風等の災害時の対応について説明や手紙等があれば安心。 →災害時の対応について、契約時に書面でご説明差し上げていますが、周知についてさらに工夫していきます。特に昨年の台風19号通貨に伴う対応については、利用予定だった方には十分に対応したつもりでしたが、そうでない方への私たちの対応についてのお知らせや災害時の対応方法の再確認など、情報発信に課題がありました。今後ブログ等で積極的にお知らせしていきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	10	2	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	22	1	0	●勉強が嫌いな子が嫌がらずに通えている（同様2件）。 ●家庭よりも集中して学習できる。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	22	1	0	●とても助かっている。 ●こどもと上手に関わってもらえている。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。